

# Twinkle No.6 2017.07.01

川崎こどもクリニック附属病児保育室リトルスター <http://www.kawasaki-kc.jp/littlestar.html>

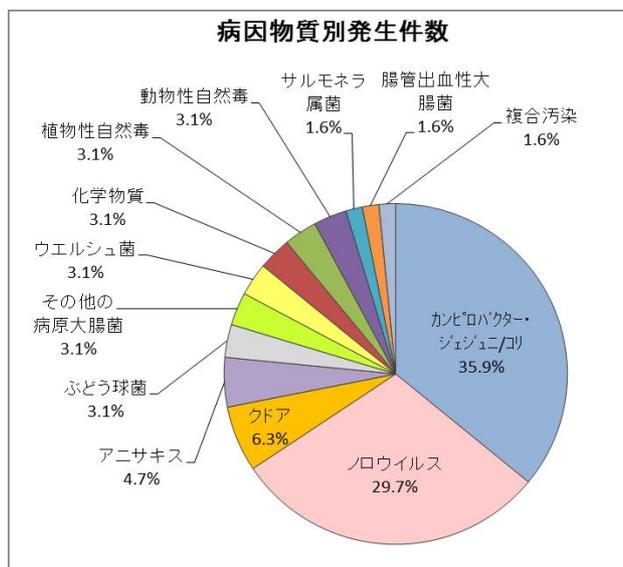
〒597-0102 貝塚市木積 607-10 TEL/FAX 072-446-0415 little-star@kawasaki-kc.jp

## カンピロバクター

感染性胃腸炎や食中毒というとノロウイルスやロタウイルスが思い浮かぶかもしれませんが、しかし、夏季を中心に細菌によるものも多く見られます。その中で特に多いのがカンピロバクターによるものです。

この菌はニワトリ、ウシ、ブタなどの腸内にいる細菌です。口に入ってから症状が出るまでの期間が3～6日間とやや長いこと、冬季にも感染を起こすことなどが特徴で、下痢、腹痛、発熱などの症状を生じます。水のような下痢は場合によっては1日に10回を越え、血液が混じることも少なくありません。また、症状が回復しても1か月近くは便に菌が含まれ、ヒトからヒトへの感染例もあります。ただ菌は熱に弱く、十分な加熱調理と二次汚染防止を徹底すれば感染は予防できます。

市販鶏肉の60～80%に菌が付着しているというデータがあります。子どもを扱う職業に就いているということからも、特に肉類の生食（鶏刺しなど）は避け、十分に加熱してから食べましょう。自分が苦しむと言うだけでなく、保菌者となって



周囲に感染させてしまうリスクが生じるからです。サラダなどは肉類を調理する前に作るようにする、手指や調理器具を十分に洗浄・消毒し、他の食品を汚染しないようにすることが重要です。

また、施設内で食事の調理、配膳、食事介助に関わる職員は、保菌のないことが望まれます。定期的な検便（便培養検査）を行い、陽性者については上記のような業務からははずすことも必要です。

## 第27回全国病児保育研究大会

標記研究大会が、今年は7月の連休に大阪で開

催されます。

会期 平成29年7月16日(日)・17日(月)・祝

会場 大阪市中央公会堂・AP大阪淀屋橋

病児保育とは何なのか、病児保育の現状はどうかなどを見ていただく良い機会になるかと思えます。研究大会開催内容の概要につきましては <http://web.apollon.nta.co.jp/hoiku2017/> にありますので、是非一度ご覧下さい。また、ご都合がつくのであれば、参加していただければ幸いです。なお、当病児保育室からも運営スタッフを出していますし、一般演題も出させていただきます。

会 長 木野 稔 (社会医療法人 真実会 中野こども病院 理事長・院長)

実行委員長 原田 佳明 (医療法人 協仁会 小松病院 名誉院長)

主催 一般社団法人全国病児保育協議会